

# 平成28年度推薦入試の合否判定基準

## 合否の判定

中学校から提出された書類をもとに面接を行い、規定の評価基準に照らして作成した内申・推薦項目の評価と面接の結果について審議し合否を判定する。

### 1. 内申の評価

次のア～ウの基準を満たしたもので

評定平均が 4.0 以上あるものは A 段階。

同じく評定平均が 3.0～3.9 のものは B 段階。

次のア～ウの基準を一つでも満たしてないものについては、C 段階とする。

〔内申基準〕

ア. 成績について

3カ年間の評定平均が 3.0 以上で、評価に「1」（5段階）がないこと。

イ. 出席状況

① 遅刻が各学年とも5回以内であること。

② 無届の欠課が各学年とも5回以内であること。

③ 無届の欠席が各学年とも3回以内であること。

ウ. その他、行動の記録等に問題がないと認められるもの。

### 2. 推薦項目の評価

次に定めた評価基準にもとづいて、高い順から A・B・C の三段階とする。

(1) 「自己表現」のランク ※最も実績を残した活動を示す証明書が必要。

ランク 活動分野	A	B	C
(ア)文化活動	・県レベル以上の実績 金賞、最優秀賞、 優秀賞、舞踊等の新人賞、 生徒会長・副会長	・地区レベル以上の実績 県レベルの優良賞、佳 作、奨励賞、銀賞、銅 賞、地区レベルの優良 賞以上、生徒会役員 執行部	・校内活動の実績 学級役員 学校代表
(イ)スポーツ 活動 ※当該競技の 登録メンバー 表も提出	・県大会以上の実績 県大会ベスト4以上  ※団体競技は登録メン バーとする	・地区大会以上の実績 県大会ベスト8 地区大会ベスト4以上 ※団体競技は登録メン バーとする	・学校代表の実績 学校代表選手
(ウ)社会活動	・県全域を対象とした 団体からの表彰 (2年以上の活動歴があるこ と)	・市町村及び地域団体か らの表彰 (1年以上の活動歴が あること)	・校内での活動実績学 校長、生徒会の表彰
(エ)ボランテ ィア活動	・県全域を対象とした団体か らの表彰 (2年以上の活動歴があるこ と)	・市町村及び地域団体か らの表彰 (1年以上の活動歴が あること)	・校内での活動実績学 校長、生徒会の表彰
(オ)資格取得 等の活動	実用英語技能検定準2級以上 日本漢字能力検定準2級以上 実用数学技能検定準2級以上	実用英語技能検定3級 日本漢字能力検定3級 実用数学技能検定3級	実用英語技能検定4級 日本漢字能力検定4級 実用数学技能検定4級

※各分野のランクは、原則として上記の基準に従い全体のバランスを考慮して決定する。

(2) 「個性表現」のランク

申請のあった内容を10分程度発表してもらい、5分程度の質疑を行う。

専門の審査員でA、B、Cの評価をする。評価は「自己表現」のランクを基準とする。

### 3. 面接の評価

志願者の特性、目的意識、志望動機などを15分程度行い、A・B・Cの三段階で評価する。